

山北高校の 取組について

地域との協働による高等学校教育改革推進事業（地域魅力化型）



1 研究の目的

- 多様な人々と協働して新たな価値を創造できる人材の育成
- 「個人の成長」を求めることに力点を置く教育課程の研究
- 自ら行動できる人材の育成

2 研究内容

○教育課程の中心に「総合的な探究の時間」を据え、地域課題に係る問題解決学習に取り組む。

○コンソーシアムの協力を得ながら地域課題を探究し、地域人材の育成を図る。

2 研究内容

○1年生

- ・「探究」とはどのようなものを学ぶ。
- ・「山北」「未病」「地域防災」の3つのテーマに分かれ、外部から講師を招き、指導や助言を受け、考えをまとめ発表する。

○2年生

- ・学校設定教科「あしがら」
- ・「My プロジェクト」を考え、個人や少人数グループで設定した課題について考察し、自分なりのアクションプランを考え、実行する。

○3年生

- ・2年生で取り組んできたものをブラッシュアップし、実現可能な形に近づけ、「政策提言」という形で、山北町に発表する。

3 研究の成果

○「フィールドワーク」による体験が、探究活動の大きな原動力になっていることが実証された。

○外部機関との協働によって、教員だけでは伝えられない知識や体験を得、伝わる力の大切さが生徒の「自分ごと」になった。

○「政策提言」という形で、山北町の各課の職員や地域の方に向けて発表会を開催できるようになり、生徒の思考力・資料活用力・表現力の育成 がさらに進んだ。

(今年度は令和4年1月14日に、山北町生涯学習センターで実施予定)

3 研究の成果

・生徒のアンケートから、山北町への興味や、山北町が抱えている課題についての関心が高まっていることが読み取れる。

	2019年 4月	2020年 2月	2021年 2月
山北町の抱える課題について、感じたり考えたりすることはありますか？	27.8%	61.1%	65.3%
山北町に関する仕事や職業に就いてみたいと思いますか？	9.6%	16.7%	20.1%

3 研究の成果

・探究活動を通して、課題の設定・情報の収集・整理や分析・まとめといった活動の大切さに気付くことができた。

	2019年 4月	2020年 2月	2021年 2月
これまでの学習活動において、課題の設定・情報の収集・整理や分析・まとめや表現などの活動を繰り返していく学習や活動に取り組むことができましたか？	69.7%	74.8%	77.4%

3 研究の成果

- 新たなカリキュラム開発による研究の成果
 - ・ 「未病」「地域防災」「山北」というテーマ設定
⇒ 批判的思考力、教科等横断的な学習の取組み
 - ・ 思考力育成
⇒ 生徒の中で様々な科目に渡ってネットワーク化

3 研究の成果

○ 新たなカリキュラム開発による研究の成果

- ・ 複数回の発表会を年間を通じて実施
⇒ プレゼンテーションスキルの向上
- ・ 教員の意識の変化
⇒ 近隣学校への取組事例紹介
- ・ 将来生活する地域での地域活性サポーター
⇒ ”地域のために”や”社会の役に立つように”といった意識の醸成

4 今後の課題

○さらなるカリキュラム開発

- ・卒業生の探究活動が引き継がれていく仕組みづくり
- ・「総合的な探究の時間」を核に据えた教科横断的な学習活動の推進
- ・地域や企業と継続的に協働していく体制づくり